

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクール百合ヶ丘	種別：認可保育所
代表者氏名：和泉 慎太郎	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-24-9	
TEL：044-959-5421	ホームページ：https://www.poppins.co.jp/educare/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズエデュケア	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 14名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 2名
	保育士 9名
	看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数） 11 （設備等）
	1歳児室(1)40.00㎡・2歳児室(1)23.90㎡・3歳児室(1)23.90㎡4歳児室(1)26.00㎡・5歳児室(1)39.40㎡・調理室(1)18.61㎡ 医務室(1)7.72㎡・事務室(1)19.28㎡

③ 理念・基本方針

教育方針：人生で最も重要な時期の人間教育を目指します

①寛容な人間：異年齢のお友達との触れ合いを通し、多様な価値観に触れ、人との関係性を築いたり、協調する大切さを学びます。

②聡明で愛情深い人間：「ダメ」といった禁止語の代わりに、「どうして?どうしたいの?」と問いかけます。会話の中で、人格を尊重する姿勢と論理的思考を育み、「他者への思いやり」を教える場でありたいと思います。

③探究心の旺盛な人間：日々のプログラムのほか、四季折々のさまざまなプログラムを通して知的好奇心を刺激し、お子様が自発的に取り組み、表現する力や考える力を伸ばします。

④グローバル社会で活躍できる人間：「異文化理解教育」をカリキュラムに取り入れ、視野の広い人間の育成に努めます。まずは自分に自信を持ち、自分の国や住んでいるところをよく知ることから始めます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

大切なお子様の安心・安全をお約束し、保護者の皆様の負担を軽減いたします。最新のITシステムで先生たちと連絡帳をWEB上でやりとり。お子様の当日の朝の様子をいち早く共有することができます。

荷物は最小限（お着替えのみ）で大丈夫。布団やシーツ、紙おむつやタオルの準備

(オプションサービス)があるので、忙しい朝の登園もラクラク。毎日異なるプログラムで、お子様の可能性を最大限に引き出します。さらに、オリンピック出場経験のある一流アスリートを招いたプログラムも。冷凍母乳のお預かり、離乳食から普通の食事まで働くママに寄り添い完全サポート。栄養士による食育や、アレルギー／宗教に配慮した給食のご用意も可能です。各スクールは、事前予約で見学いただくことができます。百合ヶ丘ではカメや鈴虫の飼育に加え、食育にも力をいれています。給食で捨ててしまうはずの野菜の種を乾燥させて、土に蒔き発芽から収穫までを楽しんでいます。駅から近いこともあり、利便性も優れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 6月 30日(契約日) ～ 2023年 2月 2日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(平成29年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

**特長**  
**子どもの尊重について法人として指針を示し、園でも子ども達自らが理解できるよう取り組んでいる**  
「ポピンズアプローチ」が子どもの人権を尊重した取り組みを実践するための指針となっている。また、基本的な人権については「子どもの人権チェックリスト」を基に会議で共有し、研修会も行われている。基本的な保育方針も子ども同士の関わりや学び育て合う事を目標としており、一人ひとりに寄り添えるような声かけ、働きかけを行い、常に寄り添うように努めている。園では子どもに「同意とは？」ということについて、ふわふわ言葉とトゲトゲ言葉から話し合う機会を作り、子どもたちが自ら理解できるよう取り組んでおり、また園の方針を懇談会や個別の面談等で保護者の理解を得るように努めている。

**園長が率先して保育の質向上に関わり、現場から質向上に向けた取り組みを進めるよう努めている**  
園長は日々主任や副主任に向けて様々な視点から課題を共有し、課題について職員が考えて計画や行動に繋げるようリーダーシップを発揮している。行事などについても前年踏襲ではなく、考えて計画することを職員が理解できるよう取り組んでおり、職員が自由に発想して議論できるようなマネジメントを進めている。また、保育の質向上のため、園内研修の充実にも力を入れている。

**子どもが主体的に活動できる環境を整備し、生活や遊びが豊かになるよう工夫している**  
子どもの自主性について学び話し合い、玩具などは子どもが自由に手に取り、片付けもしやすい高さに設置しており、子どもの発達や状況等に合わせて定期的な入れ替えや変更も行っている。また、遊び込めるようにコーナーの設置や、クールダウンが必要な場合のスペース作り、テントや別室の使用など個別の状況に応じて配慮を行っており、環境設定の工夫に継続的に取り組んでいる。

**今後期待される点**  
**保護者の安心感を得られる接遇の実践にむけて指導が期待される**  
保護者アンケートでは「職員の対応が子どもに対しても保護者に対しても非常に丁寧である。また、職員全員の雰囲気も明るく・・・」という意見の一方、「もっと担任

の職員と子どものことを相談したり話しをする時間がほしい。」という意見がきかれており、職員の接遇レベルに差があるように思われる。コロナ禍では、接遇を実践できる場面も少なかったこともあるが、保護者の安心感を得られるような接遇を実践できるよう指導が期待される。

#### コロナ禍において中止していた行事等の再開が期待される

コロナ禍においては、行事の縮小などの変更や中止など様々な対応が必要とされたが、その都度説明を行い保護者の理解が得られるように取り組んでいる。子どもの成長や保育園での取り組みについて保護者に理解してもらえるような取り組みとして、保育参観や保護者参加の行事についても中止されていたが、感染状況や開催方法を工夫しての再開が期待される。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事前提出書類の作成の段階で施設を振り返り、改善する箇所を発見するよいきっかけになった。  
当日のヒヤリングで園としての考えを表現できたことは良い機会であった。  
アンケート結果や最終的な評価を分析する中で主任含め、スタッフの質の向上にもつながった。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり